

千葉県支部だより

第50号記念特集号

千葉県支部だより50号の発刊に当たって

千葉県支部長 長谷川克己

集合形式による千葉県栄養士会、連盟千葉県支部の総会が無事に終わり、6月16日（日）に第1回常任幹事打合せ会を開催しました。

順調に会議が進み議題が「支部だより50号の発行・発送準備について」になり、急遽、50号記念特集号の編集（歴代支部長などの記事）、記念食事会（7月7日（日）幹事会終了後）を行うことになりました。

歴代支部長などの記事を、理解するため次項に日本栄養士連盟の設立と活動の経緯、千葉県支部の運営などについて記載します。

~~~~~  
日本栄養士連盟は、1964（昭和39）年6月に開催された総会において内規として設置され、政治活動や衆参両院選・地方選への支援などを実施した。

1975（昭和50）年6月、仙台市で開催された総会において、日本栄養士連盟の結成大会を開催した。日本栄養士会の目的を達成するため日栄と表裏一体となって常時政治活動、選挙活動を強力に展開し得る体制を整備するため政治資金規正法に基づく政治団体として設立する。初代会長に日本栄養士会会長：（故）森川規矩氏が就任。東京都選挙管理委員会に届出た。

（社）千葉県栄養士会は、副会長：（故）杉本年弥氏を連盟支部長に選任した。支部の活動は、杉本支部長が対外的な活動を行っていた。

1981（昭和56）年度において支部長の指名により副支部長2名、幹事長、財政部長、会計、幹事2名を選出した。その後、協議を重ね本県選出の1区から4区選出の議員の先生に調理師栄養士議員連盟への入会を依頼して入会と活動支援のご快諾を得た。

（栄養千葉第19号参照）

1982（昭和57）年9月、第二臨調の中間報告において栄養士免許制度廃止と報道される。日栄、連盟、関連団体とともに関係者への請願、署名、カンパなどの反対運動を強力に推進した。最終答申は軽

微な指摘にとどまる。

1985（昭和60）年5月1日発行の栄養千葉に「昭和60年度総会資料」を掲載する。引き続き8月1日号に「連盟だより」を掲載する。これ以降は、継続して掲載する。

日栄、連盟は、第二臨調での反省を踏まえ、栄養士法の強化のため法改正に尽力し、1985（昭和60）年6月、法改正が行われ、管理栄養士試験は「管理栄養士国家試験」となる。

10月27日、千葉グランドホテルにおいて「法人設立10周年及び栄養士法改正感謝の集い」を開催し、多数の来賓と会員260名が参加し盛大に行われた。

1993（平成5）年11月、政界再編成により「調理師栄養士議員連盟」に代わる議員連盟として自由民主党「栄養士議員連盟」が設立され、初代会長に橋本龍太郎衆議員が就任した。

1994（平成6）年5月、杉本支部長（千葉県栄養士会副会長）が千葉県栄養士会長に就任した。後任の支部長に前千葉県栄養士会長：（故）河村武彦氏が就任した。1996（平成8）年5月の支部総会において千葉県支部規約を制定した。

1998（平成10）年5月に開催された総会において元千葉県栄養士会会長：（故）谷口清司氏が支部長に就任した。

日栄、連盟などの強力な法改正運動と自由民主党栄養士議員連盟：橋本龍太郎会長のご尽力により、2000（平成12）年4月、栄養士法の改正が行われ、管理栄養士の業務の例示、管理栄養士が登録から免許に、受験資格の見直しと養成の高度化及び無資格者の業務規制の導入（業務独占）などが行われた。

厚生労働省の公益法人と連盟活動の区分の明確化の指導により、栄養千葉への支部だよりの掲載は2007（平成19）年12月号をもって終了し、以降は別冊として「支部だより」を発行することになった。

2008（平成20）年度、第1号は谷口支部長により発行したが第2号からは保坂支部長代行が編集を担当して発行した。

※栄養日本に日本栄養士連盟の記事は、2008（平成20）年度から掲載されなくなった。

会費の徴収は、2011（平成23）年度から千葉県栄養士会とは別に徴収することにしたことから、会員が減少することになった。

## —連盟活動の思い出— 参与 石井尚子

連盟の主な役目は国会議員、地方議員との連携です。議員の方から国政報告会の開催案内があります。その都度参加しました。勉強になるし関係団体の多くの方と顔を合わせるので千葉県栄養士会のPRと共に連携強化を図ることを心掛けていました。

次に定例会議と支部だよりの作成、発送です。

会議は年間6回、支部だよりの発送作業は3回栄養士会事務所で行っていました。作業は資料が数枚あるのできちんと揃えてたたくので封筒に入れます。少々コツが必要で上手に出来ませんでした。次第に慣れて効率がよくなりました。

さて本題の「思い出」のお話です。ある年の桜の季節でした。前述と同様の作業が終了したら当時役員の(故)川島磯さんが「これから亥鼻山(いのはなやいま)へお花見に行こう」と誘って下さいました。マイカーの方の車に分乗し途中で飲み物、焼き鳥、お寿司等々を買ってブルーシートも用意し眺めの良い所を取り、満開の桜を見、ご馳走を食らいがけない盛大な宴会を皆で楽しみました。

また、(故)杉本年弥支部長の頃は役員の多くが鴨川、君津、木更津方面でしたので定例会議を千葉市殿台町の事務所より亀田病院が便利ということで鴨川で実施した年があります。

会議終了後、杉本支部長がバーベキューパーティーを用意して下さり、海の岩場に移動しました。なんと海女さんを頼んでいて海にもぐって取った伊勢海老、アワビ、サザエを焼きながらのご馳走のパーティーでした。そこに奥さまの杉本和代さんが手作りのおむすびを届けに来てくださいました。すごく美味しいお料理で豪華な宴会となり、みんな大喜びで楽しい会議の日となりました。これらはすべし連盟があつてこそできた集いと思ひます。

千葉県栄養士会の皆さまには、是非とも一人でも多くの方の連盟支部への入会をお勧めいたします。

支部会員の増加と更なる発展を祈念しつつ。

## 連盟支部だより50号発行に寄せて 参与 保坂雄輔

「連盟支部だより50号」を迎えたということおめでとうございます。

私は、2008(平成20)年度総会終了後に前支部長：(故)谷口清司氏の後を継いで支部長代行を務めさせていただき、この支部だよりは2号から発行に携わってきました。

「支部だより」は連盟の活動状況の報告

です。個人的にいつどうしたという資料は残しておきませんでしたので具体的な問題は不明です。

基本的には「日本栄養士連盟千葉県支部規約」に沿って前任者の行っていた業務を引き継いで行いました。

前任者の資料を頼りに仕事を始めたわけですが、直ぐに、衆議院議員の選挙があり栄養士議員連盟の議員の先生の事務所に推薦状を届けた記憶があります。要は、県内の組織への対応、全国組織への対応、栄養士議員連盟の国会議員の先生方への対応でした。

今、問題となっている政治資金パーティーですが、何回か出席させていただきました。次第に国会議員の先生方も東京(夕方)での開催が多くなり、帰りに困った事を思い出しました。私の場合は運よくアクアラインが開通し、東京での会議が便利になりました。

千葉県3区選出の栄養士議員連盟の国会議員と一寸お話したことがありました。その議員の先生は自分の選挙区内に市街地から山間部までくまなくポスターを掲示していただきました。すごいですねと言いましたら、先生曰く、山間部は票にならないと。まさしくその通りだと思いました。若い人は都会に出てしまい農地も荒れ、農家もお米を生産しているのは80歳前後の年寄です。子どもの数が減り学校も廃校になっていきます。地方の過疎化です。千葉市に遠く交通の便の悪いところでは会議、研修会への出席もよほどのことがない限り難しいと考へます。

千葉県を含め全国的に困っている問題は、会員数の減少だと思います。これは収入が減ること、活動費の減少です。連盟会費と栄養士会費を同時徴収して入るときは問題なかったのですが、このことが駄目だという行政指導があり会費の別徴収となった事が原因だと思います。公益社団法人と政治連盟は別の組織です。栄養士会の皆様に政治連盟をどうとるかと思ひます。毎日仕事に追われるのが現実ですが栄養士という職業を発展させて行くには、栄養士会の会員が一人でも多く栄養士連盟の会員になっていただき国会議員の先生方に働き掛けていくことが重要です。栄養士の職業の保険料だと思ひて皆様の連盟への入会にご協力いただければ幸いです。もう一つの問題は政権交代の時の問題です。政権が変わったときどう対応するかです。以前にもありましたが現実的には難しい問題だと思います。役員在任中の前半は経費的に若干の余裕がありましたが後半はきつくなりましました。政治家の先生への働きかけの出席を減らさざるを得ませんでした。私事ですが、役員時後半は体調を崩してご迷惑をお掛けして申し訳なく思ひます。



## 日本栄養士連盟千葉県支部だより 第50号によせて

参与 木嶋義郎

私が連盟支部長に選出されたのは2016（平成28）年から2年間、保坂雄輔支部長からの依頼があり支部長をお受けしました。併せて本部地区幹事を務めさせていただきました。

連盟活動については（故）谷口清司支部長時代から多少は関わっていましたが全体像はつかめず、初めて経験することばかりで戸惑う事ばかりでした。

例えば、顧問の臼井日出男先生の事務所に連れて行かれ紹介されても先生自身は不在で奥様や秘書の方々にお会いすることが多く初対面はそんな関係で終わりました。何度か挨拶に伺っている間に顔を覚えてもらい会話もできるようになりました。

支部長になってからは佐野彰先生の事務所に伺うことが多く、出陣式にも選挙応援にも参りました。約束時間より早めに伺い事務所に掲げられてあるポスター、写真、寄せ書き等々見聞するものがいっぱいありました。

また、1975（昭和50）年から1998（平成10）年まで12期も顧問でお世話になった（故）吉原鉄治先生に関しては（故）河村武彦先生や参与の石井尚子氏から伝え聞いて長い間千葉県栄養士会と切っても切れない関係があることを知らされました。特に、「政治家の奥様は大変であること」を事務所での対応や選挙期間中の働き方など大変参考になりました。

「政治家は奥様でもつ」と云われることを如実に知らされました。前置きが長くなりましたが、私が支部長になったのは連盟会員の漸減中でした。

政治活動については、公務員として40年勤務しました。ある年の異動で職場の職員労働組合の役員に選出されてしまいました。職員労働組合費を払っている職員としておつきあいの的に加入しており後に退会しました。

栄養士会員の中には国・地方を問わず公務員が多くおりますが、日本栄養士連盟に入会したからといって先頭に立って旗を振るわけではなく勤務態度を問われることは絶対ありません。

保坂前支部長とは学生時代からの付き合いを含め65年、後に支部長を引き継いでくれた長谷川支部長とも55年の付き合いになります。

連盟支部長・本部地区幹事の役職を経験させていただき京浜ブロックでの4県都の栄養士会長、連盟支部長、行政栄養担当者の皆様にお会いする機会が持ていろいろご指導いただき感謝しております。

栄養士会員の皆様方には、役職や仕事を通して長くつながっていただきたいと思っております。

千葉県栄養士会会員皆さまの一人でも多くの方が連盟千葉県支部に入会されることを念願しております。

## 支部だよりの発行に関わって 幹事長 高澤博道

日本栄養士連盟千葉県支部だより（以下支部だより）は栄養千葉の発行に併せて年3回発行し、連盟会員のほか全千葉県栄養士会員に郵送しています。現行の支部だより第1号は2008（平成20）年4月に発行しています。

私が初めて連盟役員になった年は、2012（平成24）年5月の連盟総会で役職は幹事でした。その時の支部長は保坂雄輔氏でした。社団法人千葉県栄養士会での役職は、監事になった年で、連盟と千葉県栄養士会の両方の役員になっていました。

両方の役員をしている方は他にもおり特別なことではありません。その頃の支部だよりの作成は主に保坂支部長が行って役員会に諮っていました。

当時の役員でパソコンの操作に詳しい人は少数で、中でも保坂支部長はパソコンに詳しく適任でした。

役員会では支部だより案について「助詞の使い方から表現の仕方、誤字脱字」までかなり細かく役員の見解が反映され、議論しながらの支部だよりの作成でした。原案を作成した保坂支部長は、修正に快く応じて下さいましたが、内心は呆れていたかもしれせん。この頃の支部だよりの発送作業は役員10名前後で印刷をしながら、文書を折って封筒に入れる作業をしてましたので午前から開始して昼食後も作業を行い1日掛かりでした。

2014（平成26）年の役員改選で役職は常任幹事になりましたが前期に引き続き特別な業務はなく、割り当てられた議員の政治勉強会・国政報告会等に参加し、会議で報告する文書を作るぐらいでした。

2016（平成28）年の役員改選で保坂支部が参与になり、新たな支部長として、木嶋義郎氏が選出されました。保坂氏からは、支部だよりの作成をお願いされ連盟関連の一個のUSBを渡されました。それから支部だより26号から31号ぐらいまで原案を作成し役員会の議論を経て完成させ印刷しました。

2018（平成30）年の役員改選で長谷川支部長になってからは、以前と同じように原案を支部長が作成し、私は校正と印刷をすることになりました。完成度の高い原案は議論の余地がないものでした。文書封入作業も印刷と文書封入を分けることにより、午前中で終わるようになりました。原稿の作成は、長谷川支部長の2期目ぐらいからは、巻頭言ほか担当する業務の役員が書くようになっていました。

今期から支部だより発行の統括をすることになりました。会員の皆様に正確な

情報提供と読みやすい支部だよりになるように努めて参ります。

## 千葉県「支部だより」発行50号に 思うこと

支部長 長谷川 克己

日本栄養士連盟、千葉県支部が1975（昭和50）年に設立され栄養千葉に支部だよりが掲載されたのは、6年後、総会資料が掲載されたのは10年後の1985（昭和60）年5月号からです。

以来、支部だより、総会資料は継続して支部長の執筆により継続されてきました。

組織を作って会報（機関誌）を発行することは、組織運営の基本的な事柄になると考えており、栄養千葉の発行もこうした考え方で取り組んできました。

2008（平成20）年度から厚生労働省からの指導により、公益法人の活動と政治活動を区別することになり、支部だよりの発行と発送の準備は役員が担当して行うことになりました。

年3回の発行で50回ということは、17年近くになりますが、発行を継続してこられた歴代支部長をはじめとする役員及び作業に協力をいただいている参与などの皆さまにお礼を申し上げます。

2018（平成30）年度から支部長を引き受けました。

役員の新任などにより、欠員が生じ2023（令和5）年度において欠員となった常任役員を補充し、また、代理・代行によって事業を運営してきました。

2024（令和6）年度は、役員の新任を行い、少しですが若返りが図られ、これにより常任幹事打合せ会、幹事会において活発な意見が出されて嬉しく思っています。

予算の面では、大きな制約がありますが可能であることは取り入れ、事業内容や組織の活性化を図り、支部だよりの充実と千葉県栄養士会会員の一人でも多くの方の入会につなげて行きたいと考えております。

## 支部だより50号記念情報交換会の 開催報告

第1回幹事会終了後に事務所近くにあるレッド・ロブスターレストランにて支部だより50号記念情報交換会を昼食兼ねて開催しました。出席者は16名、長谷川支部長の挨拶に引き続き木嶋参与の乾杯の開会挨拶の後、ゆっくり2時間のランチタイムを過ごし、最後は石井参与の閉会の言葉で閉めました。



支部だより50号記念情報交換会

## ○会費納入のお願い

日本栄養士連盟は健康づくり施策の推進、栄養士制度の充実、診療報酬・介護報酬などの引き上げ、栄養士・管理栄養士の働く場の拡充、労働環境の改善などを達成するため、さまざまな活動を行っています。活動を行うための2024年度会費の早期納入をお願いします。

併せて、1人でも多くの会員の皆さんの日本栄養士連盟千葉県支部への入会をお待ちしています。

支部だよりは、千葉県栄養士会会員の全員に配布しています。すでに会費を納入された方、連盟支部を退会された方は、行き違いになりますことご容赦ください。

## ○連盟会費の納入方法

会費は日本栄養士連盟会費1,000円、千葉県支部会費1,000円の合計2,000円です。郵便局から振込用紙（郵便局にあるもの）、または電信で納入する方法です。

口座記号番号は、[記号]00120=3、[番号]651774、[加入者名]日本栄養士連盟千葉県支部です。

振込用紙には、必ず栄養士会会員番号、所属職域事業部名、自宅郵便番号、住所、氏名、電話番号をご記入下さるようお願いいたします。

## ○日本栄養士連盟ホームページについて

内容は、日本栄養士連盟の概要、活動状況、都道府県支部一覧、入会案内、連盟だよりなどが掲載されています。

2020年度から千葉県支部の活動状況を掲載しています。ご覧ください。

アドレス<http://www.eiyoudenmei.jp/>

